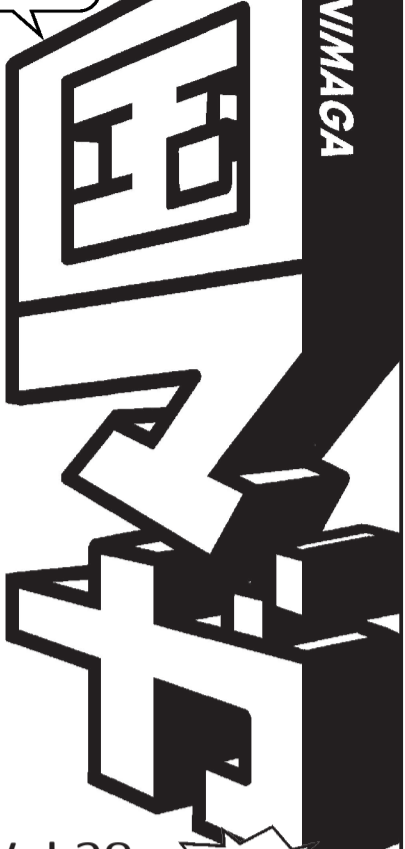


# 特集「夏到来！こどもの国でバーベキュー」

毎月5日発行！  
こどもの国系  
情報誌！

KUNIMAGA



## 超ラクチン、ご近所で肉を焼け！

◆バーベキューの季節がやってきた！

夏のレジャーの定番といえば、バーベキュー。家族や友達みんなでグリルを囲んで、焼きたてのお肉をジュージューモグモグ。そして冷えたジュースやビールをグイッと飲んだら、そりやもう最高！ 今度の休日はバーベキューで決まりだね！

でも、朝早く出発したり、準備も意外に手間、河原だと酔っぱらった危なそうなお兄さん集団がウエイ……。いやいや、あなたの近くのこどもの国には、道具を揃えて遠くまで行かなくて、お手軽安心に楽しめるバーベキュー場があるんです。

### ◆2.5アワー・バーベキュー・ピープル

園内の白鳥湖の奥に「こどもの国バーベキュー場」があります。事前にネットか電話で予約（1人につき1000円）さえしておけば、着いた時にはグリルに炭の用意ができて、ソフトドリンク飲み放題（300円）もあり。

なにに、園内ではお酒が売ってないし、持ち込みもダメなんだろうって？ 大丈夫。なんと唯一このバーベキュー場だけはビールが売っています。だから本当に手ブラで行って大丈夫。もちろん食べ物やソフトドリンクを持ち込んだってOK。

でも雨が降ったら中止なんだよな……。それも大丈夫。ちゃんと屋根があるから少しくらいの雨じゃ中止にはなりません。

バーベキューのあとは園内で遊べちゃいます！



### こどもの国野外バーベキュー場

【営業期間】  
2015/3/14（土）～2015/11/29（日）  
【2部制期間】  
2/19～6/28の土日祝日、7・8月の全日、9月中の  
土日祝日  
1部 10:00～12:30 / 2部 13:30～16:00  
【1部制期間】  
上記以外の期間  
11:00～15:00  
【TEL】  
0570-01-5381  
予約は「こどもの国バーベキュー」で検索、HPへ

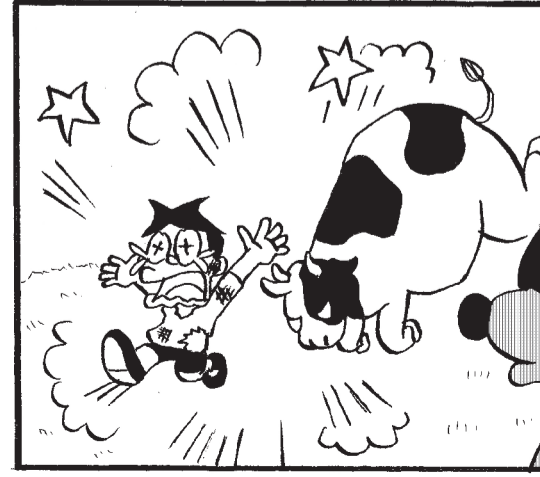
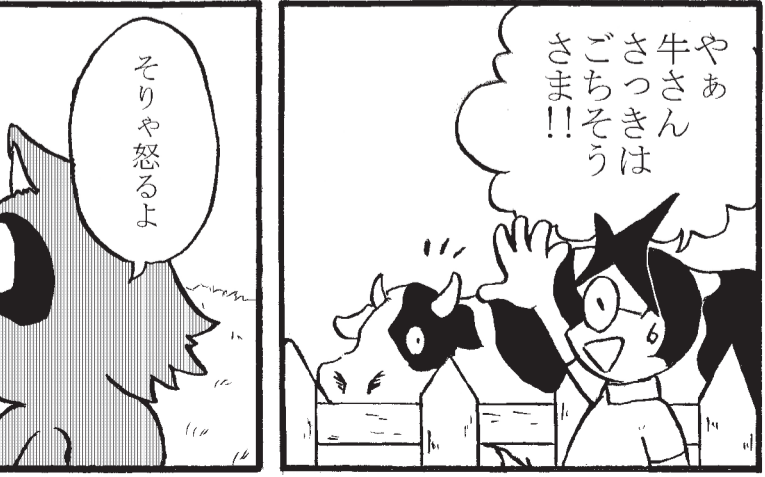
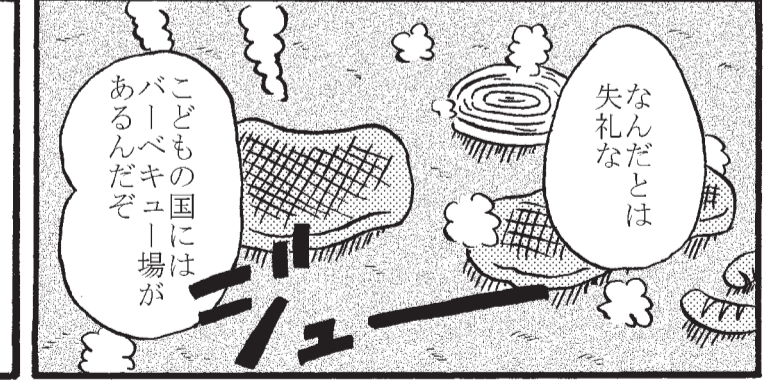
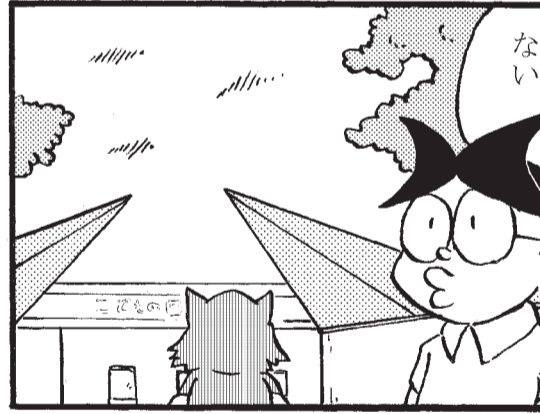
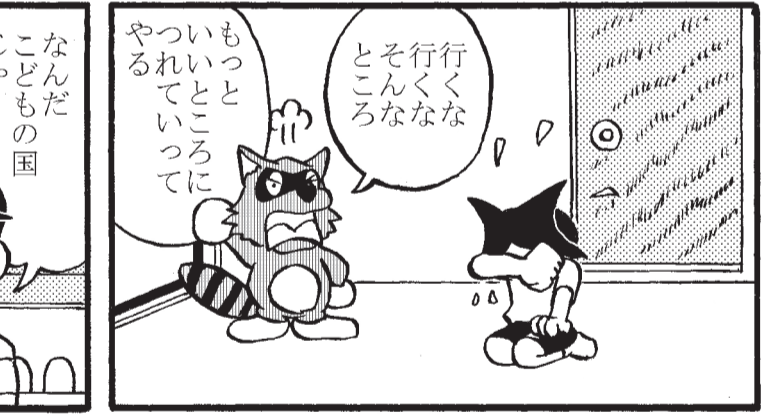
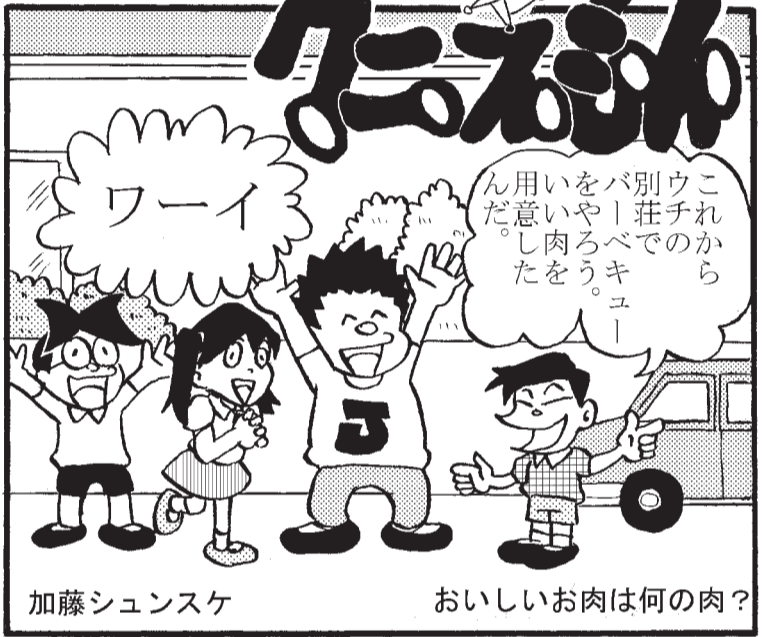


Vol.28

2015年7月号

¥0

## お肉はどの肉？



### お調子者過ぎてバーベキューに誘われない

オレは友達とバーベキューをした経験がない。

超つまらなさそうなタイトルのタイトルのような書き出しになってしまったが、原稿を前にして、どんなに考えてみても、私はバーベキューの思い出がないことがわかった。類似イベントまで範囲を広げ記憶を辿ってみて、やっと、小学5年のときの林間学校での飯盒炊爨（はんごうすいさん）がひっかかってくるくらいである。改めて書いてみると、ちょっと悲しくなってくる。

世間はどうかのとか、ネットで「バーベキュー」と検索する。

日本バーベキュー協会という団体があるようだが、そこによる

と、日本の3人に1人も人間が年に1度バーベキューをやっている

ようだ。かなりの割合である。毎年決まった人だけがバーベキュー

をやっているという事はあるにせよ、バーベキュー経験者が

年々増えて、もはや日本のほとんどの人が経験済みなのではないだ

ろうか……そう考えると、本格的に悲しくなってきた。ネット上に

どういった集まりだか知らないが（あたりまえだ）、いくつもユル

い集合写真があげられている。彼らは、きまってる口を半開きに、

まるで極楽浄土にでも来たかのような顔をしている。ああ、どうし

て私はバーベキューを経験してこなかったのだろうか。

「単に誘ってくれる友達がいなかったらだろう。ツライが、ほぼ正解。

言い訳じゃないが、十代後半から二十代前半までは何回かバーベ

キューの誘いを受けたことはあった。あったのだが、これを断っていた



しかし、これはこれで良かったのかも知れない。それは、やっぱり、私が生粋のお調子者なので、バーベキューなんかしたら、周りに迷惑をかけそうだからである。

食事は人を無防備にさせるから、地が出やすい。例えば、テレビドラマで刑事が取調べの際にカツ丼を食わせたりするシーンがあるが、これは容疑者の緊張を解き、自白させるためである。

先日、仕事先との会食で焼き肉が振る舞われたことがあった。そこで、うまい肉を食い、すっかり気が緩み、「いやあ、ふだん私が食べている肉が段ボールに思えてきますよ」と、中国の「段ボール肉まん事件」にインスパイアされたコメントを得意気にしたが、見事にスベった。その場では「ははは……」とお茶を濁していた上司に、後で「他に褒めようがあるだろう」と叱られることとなった。

本来緊張すべきシーンでもこんな感じなので、バーベキューなんてものは、私が超調子者になってしまうようなイベントである。もし、この先、バーベキューに誘われたとしても自主的に規制をかけるべきだ、と誓いを新たにしたのであった……。だけど、誘ってみると、意外に働き、盛り上げるし、ゴミも分別して持って帰るし、結構、バーベキューに適したヤツかもよ、なんてね。

国マガ配布店舗紹介  
 国マガのある店！  
 20

ラーメン246亭



神奈川県横浜市青葉区桜台 26-3  
 045-515-0980  
 11:30 ~ 20:00 (スープ終了次第閉店)  
 月曜定休  
 HP <http://246tei.daa.jp>

◆青葉台のラーメン屋  
 今回は、青葉台駅より徒歩10分、桜台にある「ラーメン246亭」をご紹介します。こちらは、店舗からして个性的。トタンのひさしに、古びたポスト、植込みにはお地蔵さん。店内は昭和30、40年代の店が立ち並ぶ路地裏が再現されていてびっくり！当時のビールのポスターや、ダイヤル手回しのテレビなど小物も店中にずらりと並んでいます。昭和歌謡も流れていて、タイムスリップしたみたいですよ。

◆一週間に一杯のペースで新メニューが誕生  
 肝心のラーメンは鶏のスープにこだわっています。メニューの中から、キングオブチキンの異名を持つ濃厚鶏白湯「殿(750円)」を注文。大きなチャーシューに、メンマ、青ネギ、わかめ、カイワレ、ナルトとバランスのいい具材。ご主人の島村さんがトンコツを超える濃厚さを追求したというスープをひとくち飲むと凝縮された旨味が口に広がります。それが平打ちで、これでもかというほど縮れた麺とよく絡んでおいしい！じっくり真空低温調理されたチャーシューはやわらかくジュシーでローストポークのよう。これがもう本当にうまい。スープ、麺、チャーシューとどれをとっても独創的で一級品。こんなラーメン他所では食べられません！さらにこちらでは週代わりというハイペースで新しいラーメンを提供していて、ご主人のラーメンに対するひたむきさに感服せずにはられません。

◆一杯に込められた気持ち  
 お店のフェイスブックページには毎日新作ラーメンについての試行錯誤が綴られています。大変なことだけど、ひとえにお客さんに喜んでもらえることがやりがいになっているとご主人は言います。レトロな店構えにしても、軒先にご主人が置いた小さなお地蔵さんにしても、高齢者の多い青葉区で、来店するお客さんに古き良き人情あふれた時代を懐かしんでもらいたい、若いお客さんには、そういう時代があったことを知ってもらいたいという思いが込められています。一杯のラーメンで提供するのには、おもしろいだけではない、真心なんですね。

◆一杯に込められた気持ち  
 お店のフェイスブックページには毎日新作ラーメンについての試行錯誤が綴られています。大変なことだけど、ひとえにお客さんに喜んでもらえることがやりがいになっているとご主人は言います。レトロな店構えにしても、軒先にご主人が置いた小さなお地蔵さんにしても、高齢者の多い青葉区で、来店するお客さんに古き良き人情あふれた時代を懐かしんでもらいたい、若いお客さんには、そういう時代があったことを知ってもらいたいという思いが込められています。一杯のラーメンで提供するのには、おもしろいだけではない、真心なんですね。



同志

嫌な時期がやってきた。5月の連休からそれ以降は少しづつ増え始め、梅雨明けの声を聞くと急に増え始める。精肉担当者として受け入れられない集団が、このスパーにやってくる。早速、若い男女4人組がにぎやかな様子でやってきた。カートに山ほどの酒と、つまみが乗っかっている。精肉担当の敵、バーベキュー客のお出ましだ。

「牛肉がたっぷりこらよ！カルビカルビ！」  
 「俺マジ喰うから。全然喰うから」  
 俺は心の中でため息をつく。バーベキューの肉なんて絶対に残るに決まっているんだ。イベント前の集団が、その場で盛りあがった気持ちだけで大量に買い込んだ俺の渾身のカルビは、おしゃべりの合間で焦げついて味を落とし、多くはビールで一杯になった腹のキャパシティに拒否されて、生ゴミと化する。

こいつらにはわからないだろう。中堅スパーながらも、確かな目利きとこだわりで、高級スパーにも匹敵する質の高いお肉をお客様に届け続けている俺の誇りなど。  
 「あー、バーベするんすけど、どれが一番うまいっすか？」  
 黒縁の眼鏡をかけたガタイのいい男が声をかけてくる。  
 「そこにある一番量が多くて安いやつがいいよ」  
 俺は、こういう集団に対して決まって答える台詞を述べた。  
 「あ、ほんとだ、お得意じゃん！これでいいじゃん」  
 テンションの高い声が売り場に響く。精肉担当として、仕事に妥協するわけにはいかない。しかし、バーベキュー客のために、ウチの精肉を愛する常連のお客様が割を食うわけにはいかないのだ。俺はこの時期には必ずバーベキュー客用に、安い肉のセットを用意している。彼らにはそのくらいがちょうどいい。

「じゃあ、これ、4つくらい？」  
 眼鏡の男が次々と得用カルビをカゴに入れていく。男女込みの四人で、その量を消費できるかは考え難い。安い肉といえど肉は肉だ。俺は心の中で手を合わせた。  
 そのとき、いままですつと黙っていた金髪の女が口を開いた。  
 「うーん、いや、その量余るでしょ」  
 「え、そう？」  
 「それにこれ、あんまり肉じゃないよ。こっちにある肉をきちんと焼いた方がよいよ」  
 俺はそうやって上級カルビを指さす金髪女の表情を見て、はっとした。こいつは俺と同じ種類の人間だ。この世には2種類の人間がいる。この世の摂理を肉から感じ取る人間とそうでない人間。この金髪女は生き死にの罫環の中に宿る味の価値がわかる、こちら側の人間なのだ。俺は口を開いた。

「こっちは上級カルビは、間違いないですよ」  
 女は頷いて上級カルビを手取る。俺はまだ修業不足だな、この集団にこんな才人がいるとは。エプロンをつまむ手に力が入った。

短編小説  
 雨の日の記憶  
 安原マヒロ



国マガ年鑑発売中！  
 ★2013～14年の『国マガ』の歩み『国マガ年鑑』！「Coonie」「GRIVE」「昭和書房」「スリーエフ・子どもの国」で販売中！

■こどもの国地区  
 ・コンビニ「スリーエフ・子どもの国駅前店」  
 ・パン「MONT」  
 ・カフェ＆ランチ「おぐに」  
 ・歯科「こどもの国歯科」  
 ・そば「なごみ」  
 ・イタリアン＆バー「Bacchus」  
 ・コーヒー「GRIVE」  
 ・ケーキ＆喫茶「セントボーリア」  
 ・焼肉「炭火焼肉はち」  
 ・カフェ/カレー「なつうめ」  
 ・板金/塗装「井組自動車工業」

■奈良北地区  
 ・ハム/ソーセージ「シュタットシンケンかくれ工房」  
 ・本/文具「昭和書房」

・パン「Coonie」  
 ・とんかつ「かつ元」  
 ・接骨院「川本鍼灸接骨院」

■青葉台地区  
 ・パン「COPPET」  
 ・ラーメン「246亭」  
 ・接骨院「あつぶる鍼灸接骨院」  
 ・美容室「カットクラブKOGA」  
 ・BAR「Soul Cocktail's AOBADAI」

■田奈地区  
 ・不動産「太平プラン」  
 ・アートスペース「赤い家」

■町田市  
 ・古着「ULTRABO」

STAFF

加藤シュンスケ (代表) 会社員 / イラストレーター (@kato\_two)  
 国マガ読者の皆様、こどもの国周辺地域のこんなところを特集して欲しい！なんてご要望あれば是非ご連絡下さい。ちなみに今回の取材は撮影班におまかせして、私はBBQを満喫してしまいました。

サリー志村 (編集長) 編集者 (@shimamuramasari)  
 『国マガ年鑑』(仮)の作成でデザイナーと打合せをしています。この本で関東各地の「こどもの国」を紹介していますが、デザイナーが千葉こどもの国の国を見た瞬間、「懐っ！」と言いました。

オオキ 長男 (@OhQute)  
 取材日は快晴のバーベキュー日和でした。しかし何度やっても毎回食材を買いすぎてしまうのは何故なのか？買出しで、ついあれこれカゴに入れて買ってしまっ、ちょうど食べ切れたためしが無い。

おぎぬまX 元芸人 (@oginuma\_x)  
 BBQで蚊に刺された時に好きな女の子がムヒを塗ってくれ「これ…間接キスならぬ間接ムヒじゃん！」と興奮したけど、それがBBQを主催した色黒筋肉青年のムヒであることを知り、身を清めるために川に潜りました。

安原マヒロ ウェブ編集/ライター (@MahirOrihaM)  
 いま僕は、この国マガをあきる野のキャンプ場で鳥のさえずりを聞きながら編集しています。PCさえあれば世界中どこでも作れる素晴らしい。野生の情報誌国マガをこれからもよろしく！

★誌面広告、スタッフへのお仕事の依頼も受付中！

こどもの国系情報誌「国マガ」Vol. 28  
 発行日 2015年7月5日  
 編集 安原マヒロ  
 連絡先 [kunimaga920@gmail.com](mailto:kunimaga920@gmail.com)  
 ホームページにてバックナンバー配信！→ <http://kunimaga.jimdo.com/>

Facebook [facebook](#) twitter [twitter](#)  
 Twitter ID @kunimaga920